

令和 3 年 9 月

富山市議会定例会

市長提案理由説明要旨

令和3年9月定例会市議会の開会に当たり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

はじめに、新型コロナウイルス感染症について申し上げます。

感染力の強い変異株の広がりなどにより、国内では、一日当たりの新規感染者数が25,000人を超えるなど、全国各地でこれまでに経験のない感染拡大が続いております。

本県におきましても、感染者の急激な増加による医療提供体制の逼迫が目前であることなどから、去る8月16日には、県独自の警戒レベルが最も高い「ステージ3」に引き上げられるとともに、8月20日からは、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づく、「まん延防止等重点措置」が本市に適用されるなど、爆発的感染拡大という危機的な状況が危惧される局面を迎えております。

こうした中、感染拡大防止の切り札とされるワクチン接種につきましては、現在、希望される高齢者等への接種は概ね完了しているものと見込んでおり、引き続き、市医師会などの関係機関の皆様と連携し、接種機会の拡充を図るなど、希望されるすべての方々が一日でも早く接種できるよう努めてまいります。

また、教育・保育環境の安全・安心を確保し、子供たちの学びの機

会や日常生活を守るため、市医師会等のご協力を得て、教職員や保育士等に対する優先接種を進めているほか、特に健康に留意が必要な受験生や妊娠中の方々に対しましても、優先枠を設けたところであり、今後とも市民の未来を守るため、全力を挙げて取り組んでまいり所存であります。

一人ひとりの行動が、ご自身はもちろん、大切な人の命を守ることにつながります。市民の皆様には、大変ご不便をおかけいたしますが、感染拡大の収束に向け、より高い緊張感を持って、引き続き、感染防止対策の徹底に努めていただきますようご協力をお願いいたします。

こうした新型コロナウイルス感染症の影響の長期化などにより、社会に先行きの見えない不安と閉塞感が漂う中、去る7月23日から昨日まで、我が国では、1964年以来、夏季としては57年ぶり2度目となる「第32回オリンピック競技大会」及び「東京2020パラリンピック競技大会」が、東京都を中心に開催され、各国を代表するアスリートによる熱い戦いが繰り広げられました。

日本選手団は、今回のオリンピックで、史上最多58個のメダルを獲得するなど、素晴らしい成績を収められ、私たちに多くの勇気と感動、そして次代を担う子供たちに夢と希望を与えてくれました。

本市出身の選手では、スケートボード女子ストリートにおいて、見

事、銅メダルを獲得された龍谷富山高等学校一年の中山楓奈選手や、開会式で日本選手団の旗手を務めたバスケットボール男子の八村塁選手など、多くの選手が出場されました。

オリンピックという大きな舞台でご自身の力を存分に発揮し、活躍されている姿に大きな感動を覚えるとともに、そこに至るまでの弛まぬご努力に深く敬意を表する次第です。

また、中山選手におかれましては、本市がスケートボードやBMXをはじめとしたスポーツの普及啓発を目的に、平成 26 年に整備した富山市ストリートスポーツパークに小学 3 年生の頃から毎日のように通い続け、技を磨いてきたと伺っており、こうした施設の整備が今回の活躍に繋がったものであれば、大変うれしく思います。

本市出身選手の今後ますますのご活躍をお祈りするとともに、このことを契機に、本市において、スポーツへの関心がより一層高まることを期待するものであります。

(来年度予算編成について)

次に、来年度予算編成に向けた考え方について申し上げます。

国は、本年 6 月に「経済財政運営と改革の基本方針 2021」を策定され、新型コロナウイルス感染症の克服と経済の好循環に向けて取り組むとともに、成長を生み出す 4 つの原動力として、「グリーン社会の

実現」、「官民挙げたデジタル化の加速」、「日本全体を元気にする活力ある地方創り」、「少子化の克服・子供を産み育てやすい社会の実現」を推進することとされています。

この方針を受け、令和4年度予算の概算要求基準では、歳出改革の取組みを強化するとともに、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、グリーン社会、デジタル化、地方活性化、子供・子育てへの予算の重点化を進めるため「新たな成長推進枠」を措置することとされています。

また、子供・子育て施策については、行政組織の創設や財源の確保を前提とした支援策について、予算編成過程において検討することとされているなど、今後の国の予算編成の動向に注視していく必要があります。

こうした中、本市の令和4年度予算を取り巻く財政環境については、歳入について、一般財源の多くを占める市税では、今年度の収入見込みなどを参考に見積もりますと、個人市民税、法人市民税いずれも本年度当初予算と比較して増収が見込まれ、固定資産税についても、昨年度実施された中小事業者などへの軽減措置の適用がなくなることから増収となり、市税全体としては、本年度の当初予算を上回るものの、新型コロナウイルス感染症発生前の水準には及ばないものと見込んでおります。

なお、これはあくまで現時点での見積もりであり、新型コロナウイルス感染症の状況によって大きく変動する可能性があるため、今後の社会経済情勢を注視しながら、適正な見積もりに努めてまいりたいと考えております。

次に、歳出では、義務的経費である、人件費、公債費、扶助費のいずれも増加することが見込まれております。

加えて、来年度、後期基本計画の初年度となる第2次総合計画をはじめとした各種計画に位置づけた事業を着実に進める必要があること、さらには、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動を両立するための対策など、大きな財政需要が見込まれ、極めて厳しい予算編成になるものと考えております。

こうしたことから、新年度予算編成に当たりましては、国の動向や、新型コロナウイルス感染症の拡大が地域経済に及ぼす影響等を十分に見極めながら、予算の重点的・効率的な配分に努めてまいりたいと考えております。

なお、私にとっては、初めての当初予算編成となります。厳しい財政状況の中、「幸せ日本一とやま」の実現に向け、選挙で掲げた公約を実現するための事業をどのように予算化していくか、現在、予算編成の方針について検討を進めているところであり、11月の定例記者会見で発表させていただきたいと考えております。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、私が市長選挙で掲げた公約に関するものや、新型コロナウイルス感染症に関連する経費などの補正を行うものであり、一般会計では31億4,200万余円を追加するものであります。また、介護保険事業などの特別会計では、70億2,900万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(① 選挙公約に関するもの)

まず、私が市長選挙で掲げた公約のうち、市民の命と安全・生活を守るための取組みとして、コロナ禍の不安の中で生まれた新生児の健やかな成長を支援するための支援金のほか、秋以降のインフルエンザの流行を見据え、県の未就学児へのインフルエンザ予防接種費用の助成に併せ、本市独自に対象を小・中学生に拡大するための経費や、社会経済活動の停滞の影響を受け、厳しい状況下にある事業者の皆様を支援するため、市内産農林水産物の消費拡大を図るためのキャンペー

ンに要する経費、公共交通の持続的な維持・確保に向けた支援に要する経費などを計上しております。

また、稼げる農業を実現するための取組みとして、既に実施しております呉羽梨の凍霜害等に対する緊急支援プロジェクトの第2弾となる果樹産地ブランド維持支援事業に要する経費や、コンパクトなまちづくりの深化にかかる取組みとして、JR高山本線のブラッシュアップ方策を検討するための経費、さらには、次世代を担う人材育成のための取組みとして、まちなかにおいて学生専用シェアハウスを整備する民間事業者に対する補助金などを計上しており、「幸せ日本一とやま」の実現に向け、早急に取り組むべきものについてはスピード感を持って、順次実行に移してまいりたいと考えております。

(② 新型コロナウイルス感染症に関するもの)

次に、新型コロナウイルス感染症に関連する経費につきましては、感染拡大を防止する取組みとして、公共施設において使用する感染防止用品の購入や、単独調理場がある小・中学校及び幼稚園の空調設備の更新に要する経費、市民・企業の皆様からのご寄附を「新型コロナウイルス感染症対策基金」に積み立てる経費などを計上しております。

(③ その他の事業)

その他の事業といたしましては、決算剰余金の一部を財政調整基金や減債基金に積み立てる経費のほか、先月の豪雨に伴う農地や農業用施設の災害復旧工事に要する経費、小・中学校において、倒壊や落下等により重大な事故につながる恐れのある外構工作物を撤去・更新するための経費などを計上しております。

(④ 特別会計)

特別会計では、介護保険事業特別会計及び国民健康保険事業特別会計において、前年度未処分剰余金を基金に積み立てるものなど、牛岳温泉スキー場事業特別会計において、運営体制の強化を図るための委託料など、競輪事業特別会計において、車券売上収入の増加に伴う払戻金など、農業集落排水事業特別会計において、室牧污水处理施設の非常用発電機更新工事に要する経費を計上しております。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源としては、一般会計では、国・県支出金や地方債及び繰越金など、特別会計では、国・県支出金や地方債及び一般会計からの繰入金などを充てております。

また、債務負担行為については、一般会計において、大山地域公共施設複合化事業費や給食調理等業務委託費など 10 件について、病院事業会計において、院内保育所運營業務委託費など 2 件について、そ

それぞれ限度額を設定するものであります。

(2 その他の案件)

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市スポーツ施設条例の一部を改正する条例」を制定するものなど5件であります。

契約案件については、奥田小学校校舎改築工事の請負契約を締結するものなど5件であります。

その他の案件については、「富山市過疎地域持続的発展計画」策定の件など5件であります。

報告案件については、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、令和2年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見を付して報告するものなど7件であります。

また、決算の認定については、令和2年度一般・特別・企業の各会計について、監査委員の審査を経ましたので、議会の認定を求めるものであります。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。